

陸上空母離発着訓練施設の馬毛島への

移設に反対する決議

日米両政府は、平成23年6月21日にワシントンで外務、防衛担当閣僚の日米安全保障協議委員会を開催し、共同文書を発表したが、この中で、在日米軍再編の一環として、「馬毛島が米軍の空母艦載機離発着訓練の恒久的施設として使用されることになる」と明記されたところである。

これまでも、種子島・屋久島両島の1市3町の首長及び議会議長等は、馬毛島が米軍の空母離発着訓練施設や夜間離発着訓練施設の移転候補と発表されるたびに、防衛省を訪問し、馬毛島への移設・移転について断固反対の申し入れを行ってきたところである。

しかしながら、今般、地元へ十分な説明がないままに地元の意思を無視し、共同文書に馬毛島を明記したことはまことに遺憾であり、強い衝撃を受けている。

米軍の陸上空母離発着訓練施設は、住民に多大な不安を与え、生活面での影響は極めて大きなものがあり、地元の強い受入反対の意思に反するものである。

加えて、訓練による騒音等が種子島・屋久島両島の環境や農林水産業にも影響を与え、世界自然遺産の屋久島、宇宙基地の種子島といった日本を代表する観光地のイメージが根底から履されるとともに、訓練中の事故発生も否めず、地元にも多大な犠牲を強いることに繋がることも予想される。

種子島・屋久島の豊かな自然環境で育ち、絶えず美しい山や海など、穏やかなこの島で暮らす私たちにとって、今回の陸上空母離発着訓練施設の馬毛島への移設等は絶対に容認できないものである。

種子島・屋久島の末永い豊かさと平和を願い、陸上空母離発着訓練施設をはじめとする全ての米軍関連施設の馬毛島への移設等に断固反対する。

以上決議する。

平成23年9月21日

鹿児島県西之表市農業委員会

